## 患者さんを介して

10月下旬から11月は大学病院や地域の基幹病院の病診連携懇話会が目白押しでした。そこでは、病院医師や地域連携の方々と、自分たちの現況や患者さんの今後の方針を相談したりしました。

その中で印象深かったことに、以前紹介状に「この患者さんは本当に良い人で……」と通常の紹介状には記載されることのない文を書かれた病棟主治医の先生との会話があり ました。

その患者さんはいつも我々が来るのを心待ちにしていて、一回の診察のたびに痛みの状況をつぶさに書いてくれていました。それを参考に麻薬の調整などをした後に、ふるさとの九州の話などをすると大変嬉しそうな表情をされ、その表情には人の良さが全面に出ていて、我々も診療をする元気をもらっていました。

そこで、私はどうしたらこの患者さんはもっと喜ぶかなと思案し、祖父が住んでいたエリア、世界遺産の三池炭鉱の写真をお見せしたり、また当院看護師にたまたま患者さんと同郷の者がいたので話したところ、大変喜ばれ、さらに癌の痛みや不安が少しは和らいでいただご様子でした。その姿に、我々も今日も安心感を与えられて良かったと思っていました。

このような話を病棟の先生にお伝えしたら、先生は少し興奮されながら、「本当に良かった。在宅で最期まで安心して過ごされて良かった。信頼できる先生に診てもらえて良かった」と喜ばれていました。

我々のような在宅医療機関は自宅でできる医療範囲は広いと自負していますが、患者さんの医療以外に関心のあることを探し、コミュニケーションを醸成し、精神的な側面からも自宅療養を共に歩むことが求められるのを感じます。また、このように一人の患者さんを介して、病診連携の信頼が醸成され、医師同士が患者さんをより親身に考えるようになることもあるのだと思いました。

**松原 清二医師**
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

[まつばらホームクリニック]
☎042-439-1250
matsubarahomeclinic@gmail.com
西東京市東町 4-14-18-2F
■電話対応:午前9:00～午後6:00
■定休日　:土日（祝日は診療）
■訪問地域:西東京市、東久留米・新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索